

ハイブリッド開催で意見交換 第2回全国支部長会

第2回全国支部長会が11月6日（日）に神田キャンパスでハイブリッド開催され、支部の活動事例、夏の支部懇談会の開催結果などについて全国の支部長間で情報共有を図りました。



↑会場の様子。一部の支部はオンラインで参加した



↑開会の挨拶を述べる吉村信子育友会長



↑福島（浜通り）支部の松田重夫前支部長



↑宮崎支部の高妻和彦前支部長



↑会場からは意見や質問が出た

会議に先立ち支部長と本部役員が6、7名のグループに分かれて懇談を実施、続く全体会議では2支部が活動事例を発表し、支部長間での情報共有を図りました。福島（浜通り）支部の松田重夫前支部長は、これまでいわき市のみで開催してきた新入生歓迎会を今年度は相馬市でも開催し参加者増に努めたこと、支部懇談会ではふるさと福島就職センターの講演や卒業生の就職活動体験談をプログラムに盛り込んだことなどを発表。宮崎支部の高妻和彦前支部長は育友会本部のWebアンケート活用や支部役員勧誘における工夫などを発表しました。



↑会議に先立ち、支部長と本部役員がグループに分かれて懇談

その後、吉村信子育友会長により7～9月開催の支部懇談会の結果について、全国55支部49会場で219名の教職員が478件の個人面談に対応したこと、同伴者を含む育友会員の出席者数は1,108名でコロナ前より減少したものの満足度においては高い水準を維持したことなどが報告され、続いて事務局からは来年度支部懇談会開催における事務連絡が行われました。